

南多摩納税貯蓄組合連合会優秀賞

私が最高の人生を歩める理由

多摩市立諏訪中学校

三学年 加藤 優奈

私の将来の目標は、沢山の人に希望を与えるヴァイオリニストになる事だ。そして、その目標を叶えるために、健康な体は必須である。怪我や病気をしている、楽器を続けるのは困難だ。私とその目標に向かって突き進んでいけるのは、税金のおかげと言っても、過言ではないだろう。

(痛い！)

思わず心の中で叫んだ。左手の人指し指の第二関節が痛い。これはまずい、と何となく察した。

私は過去に指を痛めてしまった事がある。それも、弦を押さえるのになくはならない左手の指を。人指し指が使えなくなってしまふと、他の指を使ってカバーするのはほぼ無理だ。これは大変だ、と焦った。痛みの原因は恐らく捻挫だろう。大きな怪我でなくて良かったが、一応病院に行つて診てもらふ事にした。

その時にかかった医療費は、たったの二百円。全額を負担すると、とてつもない額になるそうだ。『ヴァイオリン』と聞くと、お金持ちのお嬢様を想像する人も多いかと思うが、私の家はお金持ちではないし、私も決してお嬢様ではない。ヴァイオリンは月に三回、ピアノと音楽の基本的な勉強は週に一回、当然毎回レッスン代はかかる。それに、楽器のメンテナンスも定期的にやらなくてはならない。

ヴァイオリンの弦を張り替えてもらったりすれば高い金額を支払わなくてはならなくなる。音楽を続けていくためには沢山のお金が必要になるのだ。医療費を全額負担すると、レッスン約二回分にもなる。医療費の一部を税金が負担してくれていると知った時は、とてもありがたみを感じた。私が風邪をひいたり、怪我をした時に病院に行つて診察を受けられるのは、税金のおかげでもあるのだ。医療費だけではない。以前、私が使っている教科書の裏表紙に、こんな表記があるのを見つけた事がある。

『この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。』

この表記は、他の教科書にもあった。私達が学校へ行つて授業を受け、その学びを実りあるものにできるのは、税金によって与えられた教科書のおかげでもあるのだ。

私は、税について知り、税金が私達にとつてどれだけ必要で、大切なものなのか、今までどれだけ税金に助けられてきたかを理解した。私が将来の目標を『夢』ではなく『目標』と言う事が出来るのも、税金が私の人生を支えてくれているからである。税金が様々なところで支えてくれるから、「頑張ろう。」という希望が持てるのだ。

『私が最高の人生を歩める理由』

それは、税金にあるのかもしれない。